



去る2月2日(日)、サウスベイ地域部会が「植物園でのボランティア」をパロスバーデスにある South Bay Botanical Gardenにて開催した。当日集まった約30名のボランティアメンバーたちは、爽やかな天候の下、植物のケアに汗を流した(詳細はp.8)。

2-3 アメリカで活躍するJBA会員企業インタビュー

●Kawamura International Co., Ltd.

4-5 JBA 特別経済セミナー報告

「大統領選挙を控える中での米国経済の展望」

6-11 各部会からのお知らせ

12 4月・5月のJBAイベントカレンダー

<http://www.jba.org>

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522

アメリカで活躍する JBA会員企業 インタビュー

File
16

ここアメリカで活躍するJBA会員企業の事業概要に加え、回答者の南カリフォルニアでの生活や趣味、最近の関心事に迫るコーナー。

同社のこれまでの歩み

- 1986 ● 東京都新宿区で創業
- 1993 ● 航空機マニュアル翻訳開始
- 1996 ● IT分野の翻訳に参入
- 2008 ● ドイツSAP社の認定パートナーに選ばれる
- 2009 ● アジアで初めてドイツSAP社の「Partner of the Year」を受賞
- 2012 ● 香港に慶愛香港有限公司設立、関西事務所開設
- 2014 ● ドイツにASAP Globalizers GmbHを設立
- 2017 ● カリフォルニア支店を開設

Kawamura International Co., Ltd.

産業翻訳に特化したサービスで34年の長い歴史と実績を持つ川村インターナショナル。2年半前に立ち上がった同社初の米国拠点となるカリフォルニア支店の責任者、二宮さんにお話を伺った。

貴社がアメリカで取り組まれている事業内容について教えてください。

川村インターナショナルは翻訳と通訳を行っている会社です。ランゲージサービスですね。翻訳と聞くと多くの方は書籍や映像の翻訳を想像されますが、実際は翻訳業務の90%以上はビジネスで使われている産業翻訳です。産業翻訳とは企業がビジネス活動を行う時に必要になってくる翻訳で、分野は製造、ITをはじめとするあらゆる業種にわたり、契約書なども含まれてきます。

当社がロサンゼルス・オフィスを立ち上げたのは2017年の夏です。本社は東京で、30年以上、翻訳のビジネスに携わっております。クライアントの半分以上が海外のお客様ということもあり、香港に現地法人があり、ドイツではジョイントベンチャーを立ち上げました。

さらに、アメリカにも拠点を作ろうということになった際、弊社はIT関係に強いのでまずはシリコンバレーへの進出を検討していました。しかし、今後を考えた際に、ロサンゼルスにはシリコンビーチがありますし、多くの日系企業が事業を展開していることから、ロサンゼルスに支店を開設することに致しました。アメリカに出て来なくても電話やネットでやりとりはできますが、や

はり同じタイムゾーン内で連絡した方が良いということもあり、進出をアメリカのお客様からも期待されていました。

現在、ロサンゼルス支店のスタッフは私1人です。当然ながら前任者もいません。ゼロの状態から立ち上げまして、JBAを含めネットワーク作りに努めてきました。おかげさまで、支店開設から2年半で徐々に取り引きは増えています。

業務の流れとしましては、ご依頼を受けた後、プロジェクトを管理する弊社のスタッフが、専門分野の翻訳者をアレンジします。そして、翻訳が上がってくると、社内ですら品質管理の担当がチェックした上で最終的に納品しています。それが標準的なサービスです。

弊社の強みとしてはまず、各分野に特化した翻訳者が対応するという専門性の高さが挙げられます。次に英語以外の言語にも幅広く対応していることも大きな強みです。香港にも現地法人があるため、中国語をはじめ、韓国語、ベトナム語、タイ語などアジア各国の言語の翻訳も承っています。

さらに、機械翻訳されたものを手直しして納品するというサービスも提供しています。これは、クライアントが「時間がない」「予算が限られている」という場合に、機械翻





医療機器、医薬品、食品、化粧品、放射線機器

FDA・EPA・Prop65
他各種規制対応 専門





Phone: (310) 538-3860 email: info@globizz.net
お問い合わせは伊藤由衣迄
1411 W. 190th St. Suite 200, Gardena, CA 90248, U.S.A.
グロービッツ コンサルティング • ウェブサイト: www.globizz.net



シリコンビーチと呼ばれるエリアにあるカリフォルニア支店外観。

お話をうかがったのは

二宮千佳子 さん

アメリカ生まれ、日米の両方で育つ。トランスで高校卒業後、日本で大学進学および就職。映画字幕制作、音楽や舞台関連の海外折衝担当などを経て、2014年に川村インターナショナル入社。プロジェクトマネジメントや品質管理に従事後、2017年US支店立ち上げのため再渡米。



翻訳関連のセミナーも開催している。



東京本社の会議室。

訳を活用した上で、エラーを修正して納品するリーズナブルなサービスです。いずれの場合もスタッフがしっかりとコンサルティングを行い、お客様に最適なサービスをご提案しています。

どのような企業文化や社風をお持ちですか？

全体で50人という少人数の会社なので、その分、トップのビジョンが見えやすいということが言えると思います。

しかし、トップダウンというわけではありません。誰かが発言すると「では、やってみよう」というように意見が通りやすい環境です。例えば、3年前にアメリカに進出したのも、私がアメリカで生まれて育ったという背景があったので、アメリカに戻って働きたいという私の希望と、会社側のアメリカに拠点をもちたいという方針とが一致して実現しました。

また、今の会社に転職して6年目、つま

りアメリカ支店を任せられた時点ではまだ入社してそれほど年月が経っていなかった私を、1人でアメリカに出してくれたのですから「肝が据わった会社」だと思います。

個人的な南カリフォルニア、ロサンゼルス印象、日本との違いなどについて感じられるところをお教えてください。

私は小中高とずっとトランスに暮らしていて、あさひ学園にも通ってました。大学入学時点で日本に戻り、3年前にこちらにまた帰って来ました。

大人になってから南カリフォルニアを改めて見ると、一般的にアメリカ人の対応は適当だと思われるかもしれませんが、実は人に対してとても丁寧だという印象を抱きました。その人が本当に丁寧に接したいと思っているからそれが態度に出ている感じがします。

それからこれは南カリフォルニアだけというわけではないかもしれませんが、仕事を

する時に会社に対してではなく、人を相手にしてくれる点が日本とは違うと思います。最終的に取り引き先を決める際に「この人だから仕事をしたい」という後押しが大きいということです。その分、仕事をいただいた時の個人の責任も重いので、やりがいを感じます。

南カリフォルニアだからこそ取り組みたいと思われている趣味や、目標とされていることなどを教えてください。

いつまでの任期が決まっておりません。赴任期間が長くなる可能性もありますので、ぜひ私の顔を覚えていただきたいと思いません。また、南カリフォルニアはエンターテインメントの土地なので、自分自身もそういった環境に浸かりたいと思い、バーのオープンマイクなどで自作曲の弾き語りを行っています。仕事においてもプライベートにおいても、積極的に自分自身を表現していきたいと思っています。

極上の和食、いせしま。

いせしま
Ise-shima
at the MIYAKO

都ハイブリッドホテル1階
(310) 320-6700
www.ise-shima.us

トランスとダウンタウン 都ホテルは2つのチョイス。

MIYAKO HYBRID HOTEL
都ハイブリッドホテル トランス・カリフォルニア
21381 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501
Phone: (310) 212-5111 Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

MIYAKO HOTEL LOS ANGELES
都ホテル ロサンゼルス
328 E. First Street, Los Angeles, CA 90012
Phone: (213) 617-2000 Fax: (213) 617-2700
www.miyakola.com

ご宿泊はJBA会員企業特別料金をご利用頂けます。詳細は各ホテルへ直接お問い合わせください。

「大統領選挙を控える中での 米国経済の展望」

去る2月7日、Miyako Hybrid Hotelにて、エコノミストの栗原浩史さんを講師に迎え、大統領選とそれに絡んだ米国経済の足元の状況、展望に関する特別セミナーを開催した。注目度の高いトピックとあり、当日は多くの聴講者が集まった。

※本セミナーは、コロナウイルス問題がアメリカで深刻化する以前に行われたもので、内容も当時の状況を踏まえたものであることをご了承ください。

【講師】

栗原浩史さん

三菱UFJ銀行経済調査室ニューヨーク駐在チーフ米国エコノミスト。1999年三和銀行（現三菱UFJ銀行）に入行後、資金部、三菱UFJ投信出向などを経て、2011年から経済調査室で米国と中国のマクロ経済分析を担当。2014年11月より現職。



雇用と消費拡大、製造業活動の 循環的な回復が景気拡大要因に

米中貿易協定での「第一段階」の合意を受け、2019年末、株価は最高値を更新した。そして、今後の米国経済についても楽観的な見方が強まっている。一方、議会上院はトランプ大統領を弾劾訴追する決議案を可決するなど、今年11月に大統領選挙を控える中、政治面の不透明感も非常に強まり、金融政策面でもFRBは昨年、大方の予想に反して利下げを実施、見極めが難しい状況だ。米国の景気が回復してから11年目に突入したが、今後の景気回復の見通しや大統領選が与える影響については、アメリカで経済活動に従事する日系企業にとって非常に気になるところである。そこで、今回、特別経済セミナーを開催し、

三菱UFJ銀行経済調査室ニューヨーク駐在チーフ米国エコノミストの栗原さんを招き、米国経済の足元の状況、そして大統領選挙を含めた今後の見通しについて、各地の情勢も踏まえた独自の視点でお話しいただいた。

最初に栗原さんは米国景気の今後の見通しについて、「景気が悪くなればトランプ大統領の再選は難しくなります。景気は大統領選のカギになります」と述べた上で、当面の景気の拡大要因と下押し要因について次のように続けた。「景気の拡大要因の1つ目は『雇用と消費拡大』の継続です。現在、雇用者の数が月々20万人弱増えています。雇用者の所得が増えて消費が増えることは、今後も米国の景気回復の柱になります。拡大要因の2つ目は『製造業活動の循環的な回復』です。OECD景気先行指数などの先行指標は、製造業の循環が2年程度の収縮局面を経て、先行き拡大局面へ転換する可能性を示唆しています」。

続いて、これまでなぜ米国の製造業の活動が減速していたのか、また、なぜ今後回復するのかに関しては次のように説明した。「製造業の減速に関しては、中国との貿易摩擦の影響などが指摘されています。しかし、私は製造業の活動にそもそも内在する循環的な側面の影響が大きいと考えています。ようやく時間をかけて調整が終了し、回復する局面に転じつつあるということです。これも当面の景気にプラスに作用するでしょう」。

対中貿易摩擦の緩和と 住宅市場の持ち直しも景気に影響

景気拡大要因の3つ目としては、製造業の回復にも関連する「対中貿易摩擦の緩和」を挙げた。「米国と中国は、今年1月に正式に第一段階の通商合意に署名しました。当面の米国景気へ与える影響として注目されるのは、米国から中国への輸出額について、向こう2年間で2000億ドルの増加が盛り込まれたということです。実現すれば米国の対中輸出の大幅な増加になり、米国の景気を押し上げることとなります。細かな品目ごとに数値目標も設定しているようであり、簡単に反故にされる合意ではないと思っています。可能な限り実現が目指されるでしょう」。

そして、栗原さんが挙げた景気拡大要因の4つ目は、「住宅市場の持ち直し」。「住宅市場の回復傾向が足元で予想以上に強まっていて、直近の住宅着工件数は13年

ぶりの高水準を記録しました。金利の低下が背景にあると思います。米国では新築よりも中古の住宅取引が主流ですが、現在、中古住宅の在庫が歴史的に見ても少なく、枯渇している状況です。つまり、販売が回復すると住宅の着工に結び付きやすい状況にあるため、回復が続きやすいと思っ

る次第です」。景気の拡大要因に続いては、考えられる景気の下押し要因についても触れ、「ボーイング737MAX機の生産停止の影響」と「新型コロナウイルスの影響」を挙げた。ボーイング737MAX機の生産が1月から3月まで停止された場合には、米国の実質GDP成長率を0.5%ポイント押し下げるインパクトがある。これは、航空機産業の裾野が広く、米国で経済全体に占める割合が大きいことが理由だ。

また、2つ目の下押し要因として挙げた「新型コロナウイルスの影響」については、「過去の類似例として、SARSの時を振り返ると、中国では例えば小売売上高の伸びが鈍化しましたが、それは一時的なもので、すぐに戻りました。米国の景気への影響も、SARSの時は限られていました。今回の程度の影響が出るかは今後の動向を見ていくしかありません。現在、中国とのフライトが制限されているため、中国から米国への旅行者減少の影響が懸念されます。ただ、旅行者による支出が米国経済全体に占める割合は、近年高まっているわけではなく、おおむね横這いに止まっています」と説明をした。

金融政策は当面、 据え置きになる模様

栗原さんは続いて、金融政策について解説を加えた。「FRBは昨年7月から10月にかけて3会合連続で利下げを実施した後、当面は政策金利を据え置いて様子を見る意向を示しています。昨年利下げを行った理由は、米中貿易摩擦で不確実性が強まったからだと言われていますが、私はインフレの影響が大きかったのではないかと思います。インフレに関連する指標の中でも、特に賃金の動向です。時間あたりの賃金の上昇率は2018年に大きく加速しましたが、2019年2月に直近のピークを付けた後は減速しています。この賃金の動きが利下げ判断に影響を与えたと思っています。なぜ賃金がこういう動きをしたのかというと、それは求人数の推移に原因があります。求人数は2018年に大きく増加して2019年に

減少しています。2018年に求人数が急増したのは、米国経済が3%近い高成長を記録したからで、その背景にはトランプ政権・共和党が実施した税制改革があります。税制改革が求人数の急増や賃金上昇率の加速につながったというわけで、これはつまり、2018年の賃金上昇率の加速は、一時的な要因に基づくものだったということです。今年は利上げも利下げも行われず、政策金利は当面据え置かれるのではないかと考えています」。

さらに、為替は政策金利の据え置きが見込まれるため、現在の1ドル=110円程度からそれほど大きな変化はないと予測。また、堅調な株価については、FRBが実施している短期金融市場の安定化策が影響している可能性があり、それが停止される場合には株価を下押しする可能性があるということだ。

気になる大統領選。 トランプ大統領の再選なるか

さて、いよいよ気になる大統領選の行方についてだが、まず民主党候補に関して、栗原さんは次のような見方を示した。「現在、民主党の候補者指名争いは混戦となっていて、候補者の決定が7月の党大会までもつれ込む可能性もあります。予備選が最初に実施されたアイオワ州ではサンダース氏とブディジェッジ氏が上位でした。一般には、予想外のブディジェッジ氏の躍進を受けてブディジェッジ氏が民主党の大統領候補に指名される可能性が出てきたとされていますが、インディアナ州サウスベンド市の市長経験だけでは経験不足との見方が今後強まる可能性などあり、民主党の大統領候補になるハードルは依然として高いと思います。アイオワ州の結果で注目すべきは、バイデン氏の得票が低調だったということ



満席となったセミナー会場。

です。バイデン氏と同じ中道派であるために、今後有利になる可能性が高いブルームバーグ氏に注目して見ていきたいと思っています」。

また、過去に遡ってみると、再選に失敗した大統領の支持率は40%を割り込んでいた。現在、トランプ大統領の支持率は40%前半で推移している。このことから、今の支持率を維持できるようであれば、トランプ大統領が再選される可能性が高いと栗原さんは見ている。「現状程度の堅調な景気が続けば、再選されそうです。トランプ大統領の支持層である製造業と農業の景気は、今年共に上向いていくと予想されています。それに伴って、トランプ大統領の支持率はもう少し上昇する可能性もあります」。

さらに現在、司法省が進めている「ロシア疑惑捜査開始の調査」についても言及。今後発表される最終的な調査結果で民主党の方に問題があったことが示される可能

性があり、そうすると米国国民の民主党への信頼がむしろ低下し、選挙でトランプ大統領・共和党の追い風になることも考えられると付け加えた。

そのほか、トランプ大統領が再選された場合の政策については、「実は現時点では、トランプ大統領は再選後の具体的な政策を提示していません。インフラ投資の拡大や中間層の減税などが考えられますが、どのような新しい政策が出てくるのか、今後の発表が非常に注目されます」と話した。一方で、民主党候補が勝った場合の政策は候補者によって違ってくるといことで、サンダース氏、ウォーレン氏が勝つと、急進的な政策を目指すことで、景気が不安定になってしまうリスクが生じるという見解を示した。

最後に栗原さんは、足元の支持率から判断すればトランプ大統領が再選される可能性が高いという見方を示し、特別経済セミナーを締めくくった。



NAGANO MORITA LLP
CERTIFIED PUBLIC ACCOUNTANTS

www.nagano-morita.com

日米会計・税務・コンサルティング総合サービス 永野・森田米国公認会計士事務所

Valuable International Professional

“Client First”をモットーにグローバル対応した
総合サービスをご提供します。

各部会からのお知らせ

ダウントウン地域部会

「マジックキャッスルディナー & マジックツアー」に参加しての感想文

文：Tokio Marine America・松尾英樹さんの奥様、紗佳さん

去る2月、マジックキャッスルのイベントに参加させていただきました。映画に出てきそうな「キャッスル」の外観を見た時は、ワクワクしました。小さなフクロウの像に向かって合言葉を唱えて扉を開けると、ビクトリア朝を思わせる雰囲気のコロニーでドレスアップした人たちがお酒を楽しんでいて、別世界に足を踏み入れたことが実感できました。

中は至るところにフクロウのモチーフが使われており、「隠れフクロウ」を見つけるのも楽しかったです。おいしい食事を終え、大きなホールでマジックショーを觀賞。アルゼンチンの若手マジシャンが繰り広げる不思議な世界観に一気に引き込まれました。観客を巻き込んだパフォーマンスもあり、会場が一体となってマジックの世界を堪能することができました。

大きなステージでのショーはもちろん、マジックキャッスルの中ではあらゆるところ



全米日系人博物館旧館の前で集合写真。

でマジックを楽しむことができました。小さなテーブルを囲んで少人数でクロスアップマジックを見たり、ハサミ1本で自分の横顔そっくりのシルエットをものの数分で切り抜いてくれるコーナーがあったりと、ショーの待ち時間も飽きることなくマジックの世界に引き込んでくれます。

参加者同士でマジックを見破ろうと頭を抱えたり、圧倒的なパフォーマンスに感嘆したりと、マジックを通してさまざまな人たちが興奮を分かち合う、これこそエンターテインメントだと実感できた夜でした。

ダウントウン地域部会

「リトルトーキョー散策ツアー」に参加しての感想文

文：JTB Americas, Ltd.・大坪哲郎さん

去る2月8日、ダウントウン地域部会主催の「リトルトーキョー散策ツアー」に参加させていただきました。自分が暮らすロサンゼルスの日系移民史に深く関わっているリトルトーキョーについて以前から興味があり、ぜひ、このツアーに参加したいと思い応募しました。

当日は2月の気候らしく、朝は冷え込んだものの快晴で絶好の散策日和となりました。参加者は総勢11名、ツアーガイドを務めていただいたのは、リトル東京サービスセンターのマイク・ムラセ氏です。まずは集合場所の全米日系人博物館前で日系移民の辿った歴史の大まかな話を伺い、散



マジックキャッスル・ディナーに参加したJBA会員ら。右下はマジックキャッスル外観。



昔の店舗名が刻まれた舗道。



歴史ある和菓子の店、風月堂。

策ツアーに出発。マイクさんによるとリトルトーキョーの街は、1884年の日系人の居住に始まり、戦前、戦中、戦後とその時代の変遷を経て、現在の区画になっているそうです。

戦前は日本から移り住んできた日本人の若者や家族で非常に栄えて、数ブロックほど現在の区画よりも大きかったそうですが、ロサンゼルス市警ビルの建設のために区画の一部を没収されたり、地区にある不動産の所有権が日系人から他の人の手に渡ったりするなど、時代の移り替わりとともにリトルトーキョーの街並みやその広さも変わってきたということを知り、残念に思いました。

一方で、現在でもしっかりと当時の趣を保ち、古い昭和の街並みを彷彿とさせる歴史的な建物が数多く点在しており、街を歩きながらそれらの建物についての説明を聞きました。私が特に気に入ったのは、East 1stストリート沿いにあるお店です。このツアーに参加するまでは個々のお店にほとんど注意を払ったことがなかったのですが、1903年開店の和菓子の風月堂や金物店のAnzen Hardwareの店内はまるで昔の日本のお店そのままに驚きました。風月堂では店主のブライアン・キトウさんに出迎えていただき、また同店の有名な和菓子をいただきました。私たちが見学している間にも多くのお客さんがひっきりなしに和菓子を求めに来店するのを見て、和菓子は世界に誇る日本の文化であることを誇りに感じた次第です。

金物店には日本ののこぎりやカンナ、や



リトルトーキョーの新たなランドマーク、ポール・H・テラサキ武道館は、現在工事真っ最中。

かん、松葉ぼうきなど伝統的な工具や日用雑貨が販売されていましたが、ゆっくり見る時間がなかったので、今度ゆっくり訪問してみたいと思います。散策ツアーではリトルトーキョーの道に記されている、普段は人が気付かない謎の文字(当時の店舗名が記載されています)や当時をしのぶ石碑などの説明もしていただきました。

ツアーの最後に、今年オープン予定で建設工事真っ最中のポール・H・テラサキ武道館について、ライアン・リー氏に説明していただきました。この武道館はロサンゼルスダウンタウンで、若者や家族、高齢者にスポーツやコミュニティ活動の場を提供し、訪問者と今後も持続成長していく日系アメリカ文化、リトルトーキョーをつなぐことを目指しているとのこと。マイクさんたちがリトルトーキョーの不動産が開発業者の手に渡らないようにビル購入を進めたり、リトル東京サービスセンターでのボランティアやKOBANでのサービスに携わっていたりすることと同様に、テラサキ武道館の建設は将来に向けて周辺地域と共存しながら、

ら、リトルトーキョーが将来も続いていくために重要な役割を担っている存在なのだというのを強く感じました。

今回、ダウンタウン地域部会の小竹さんや三木さんのご協力で大変有意義な散策ツアーに参加する機会をいただき、深く感謝致します。リトルトーキョーや日系移民の歴史はまだ奥が深いので、ぜひ第2弾のツアーを計画・実施いただけると幸いです。その際にはまた参加させていただきたいと思います。ロサンゼルスの小東京は、我々の心の故郷。ぜひ、皆さんも足を運んでみてください。

ダウンタウン地域部会

「Genesis Invitational ゴルフ観戦ツアー」に参加しての感想文

文：Pillsbury Winthrop Shaw Pittman LLP・木本泰介さん

去る2月16日、ダウンタウン地域部会主催にて、The Genesis Invitational PGAゴルフトーナメントの観戦ツアーを開催しました。開催コースは、ゴルフをされる方であれば一度はプレーすることを憧れる名門、The Riviera Country Club。同クラブのクラブハウスに立ち入ることが可能なクラブハウス・チケットと、選手のプレーを見ることに集中されたいという方のためのグラウンド・チケット、それぞれ40枚は完売となりました。クラブハウス・チケットを購入された方は、JBAが主催するツアーに参加可能であり、最終日午前9時から約30名の方が参加されました。

ツアーは主催ゴルフ場の関係者でダウンタウン地域部会の会員でもある寺島様のご案内で次のような充実した内容でした。



参加者全員で記念写真。

①ゴルフコンサルタントの山本様による同トーナメントの歴史、日本選手の関わり等の面白いお話、②メディアセンターの見学（当然ながら通常は立入禁止の場所）、③選手の記者会見場での記念撮影、④The Genesis Invitationalの記念グッズが当たるクイズ大会、⑤クラブハウスに移動してリビエラカントリークラブの由緒ある歴史の説明、⑥松山英樹選手のティースショット見学、⑦NHKの中継車の中の見学（実際の映像制作現場が見られて、子どもたちも大変喜んでいました）。1時間強の間で盛りだくさんの充実したツアーでした。

大会自体は、今年から「招待試合」に格上げされ、賞金額も増額されたことから、有名選手が軒並み上位を占める展開となり、また、日本の松山英樹選手も、3日目の猛チャージの勢いを維持して5位に食い込むなど、大変盛り上がった大会となりました。また同大会は2017年からタイガーウッズの基金が主催しているということもあり、コースのいろいろな場所にタイガーウッズを称える写真や説明があるなど、観戦し応えのある大会となりました。例年寒かったり雨が降ったりすることも多い時期ですが、今年は4日間天気の良い日が続き、観戦日和だったということもあり、皆さま、ひいきの選手のプレーを間近に観戦し、大満足の日となりました。

サウスベイ地域部会

「植物園でのボランティア」に参加しての感想文

文：ANA Trading Corp., U.S.A. ・青木恵利華さん

私たちはパロスバーデスにあるSouth Coast Botanic Gardenでボランティアをしました。前日の猛暑が嘘のような涼しい



マルチングを手押し車に乗せる作業。



力を合わせて汗を流すボランティア員たち。

朝を迎え、清らかな気持ちで1日を始めることができました。担当のインストラクターからの説明を受け、30人ほどのグループで最初の作業場に行きました。

私たちの作業は、主にマルチングを地面に敷くことでした。最初の場所は、果物の木がいっぱい咲いており、そこで作業を分担しました。まずは熊手を使ってマルチングを手押し車に乗せ、次の人たちが手押し車で木まで運び、残りのみんなは熊手でマルチングを厚さ3インチぐらいにします作業を行いました。マルチングは木の根本から少し離れた場所の周りに敷かないと木を腐らせてしまうので、気を付けないといけません。とても体力を使う作業でしたが、インストラクターのWillの明るい掛け声はすごく心を穏やかにしてくれました。「楽しん

でる!？」と常に周りに声を掛け、私たちのサポートをしてくれたので、安心して作業ができました。

1時間半ぐらいが過ぎた後、最後の場所に行き、今度はマルチングの山を周りに敷く作業を行いました。みんな疲れていましたが、最後の力を振り絞って作業に当たりました。予定より早く終わり、Willとみんなまでハイファイブをして記念写真を撮りました。作業完了! とても良い汗を掻きました。

天気の良い日にガーデニングをするのはすごく楽しかったです。暑過ぎず、風も気持ち良くて清々しい気分でした。私たちの働きが果物の実りに役立つと思うととてもうれしく、こうやって近所の地域のために働き、庭園をメンテナンスするのは大切なのだと改めて思いました。



ボランティア後に全員で集合写真。

サウスベイ地域部会

「ワインテイasting」に 参加しての感想文

文：Japan Airlines Co., Ltd.・中島喜一さんの奥様、篤子さん

去る2月6日の午後6時半から、レンドビーチの素敵なH.T. Grillにて「ワインを楽しむ初級講座」が開催され、主人と共に参加しました。今回の講師である濱アリスさんは日本銀行からの転職というとても興味深い経歴をお持ちで、ビバリーヒルズでリードソムリエとして勤務されていた時のエピソードなどを交えながら、楽しくワインの知識を教えてくださいました。

会場となったH.T. Grillでは6人ずつの円卓に着席し、スパークリングワインで乾杯後、白ワインに合う前菜、続いて赤ワインと相性の良いメインディッシュと、お料理もおいしく豪勢で大満足でした。

試飲したワインは、スパークリング「ドメヌサンミッシェル ブリュット」、白「ロバートモンダヴィ フェムブラン」、赤「メイオミ ピノワール」と「コッポラ・クラレット」の4本。どれも試飲とは思えぬ量をいただけて大感激でした。

その他にもスクリーンにお薦めのワイン銘柄を各タイプ数本ずつ紹介していただきました。しばらくはそれらを飲み比べる楽しみができました。

また、今回は「初級講座」ということでしたが、参加者の皆さまはワインがお好きな「通」な方々といった印象を受けました。お酒が進むにつれて、それぞれのテーブルでお互いのワイン談義に花が咲くことで、初対面でも和気あいあいと交流させていただくことができ、とても楽しく有意義なひとときとなりました。次回の中級講座開催も期待しています。



楽しく分かりやすくワインについて解説してくださった濱さん(左)。



和気あいあいとした時間を過ごした参加者で、最後に記念写真を撮影。

RPAで働き方改革

Robotic Process Automation

<https://us.kddi.com/la-sales@kddia.com>
310-618-6000

お客様のお来店人数を教えてください。

現金で100円以内の現金を預けたい。2より簡単してください。(本日より30日以内)

- 現金預けの準備
- お取引店店舗にて受け取り

両方を渡りました。お預けの手続きが完了しました。

双方向SMS

リッチメッセージ (RCS)

オムニチャネルで 世界中のお客様と双方向のコミュニケーション

「クッキングクラス」に 参加しての感想文

文：Yamaha Corporation of America・島田光二さん

2月9日、OC地域部会主催のクッキングクラスに参加しました。昨年に引き続き、2度目の参加です。会場のUC Irvine レクリエーションセンターは非常にきれいで魅力的な施設。キッチンスペース以外にもさまざまなアクティビティスペースが完備されており、さすがUCIという雰囲気でした。

さて、今回の参加者は約20名。4～5名のグループに分かれての共同作業（合計5品）でした。1品ごとに先生がレシピを解説してくれましたし（JBAの方が通訳してくれました）、また、日本語に訳されたレシピも準備されていたので、安心してグループメンバーと和気あいあいとした雰囲気です。

1品目は「クラブケーキ レモンディルソース添え」。カニ缶（Costcoで販売しているそうです）にシーズニングして一口大に丸めてオーブンで焼いていきます。レモンディルソースの酸味とハーブが程よくマッチして絶品でした。一口大ではなく、今回は特大サイズにトライしなければなりません。

2品目は「焼きズッキーニとトマトとバジルのサラダ」。注目すべきは焼きズッキーニ。



「焼き野菜パルクスクス」。

少しのオリーブオイルをまぶして塩コショウしただけにもかかわらず、ズッキーニのうまみとバルサミコ酢のソースが調和して最高においしい仕上がりです。グリルの焼き目が食欲を掻き立てることを学び、自宅に戻ってすぐに鉄グリルパンを購入したほどです。

3品目は「ガーリックローズマリーチキン」。さわやかなローズマリーの香りとガーリックをまとったチキンをグリルパンで豪快に焼きます。その後、オープンで中まで火を通したら出来上がり。非常にシンプルなレシピで手間がかからないにもかかわらず、味は最高。このクッキングクラスのために朝食を抜いてきた甲斐がありました。

4品目は「焼き野菜パルクスクス」。細かく切った野菜をオープンでじっくり焼き、和食には登場しないクスクスと混ぜたら、最後に生パルメザンチーズをたっぷりかけ



「クラブケーキ レモンディルソース添え」。

ていただきます。

デザートには「アーモンドブチタルト クランベリーカード」添え。肝となるクランベリーソース作りが時間の関係で割愛されてしまったのは残念でしたが、タルト生地作り方を教われたのは収穫でした。

3時間でこれだけのメニューを作れるのか？と、少々不安ではありましたが、同グループのメンバーにも恵まれ、見事完成。とても楽しい時間を過ごすことができました。帰宅した週末には、早速購入したグリルパンでズッキーニを焼き、娘と一緒にサラダを作ったのはいい思い出です。最後になりますが、分かりやすく教えてくださった講師のジェシカ先生、通訳をしてくださったJBAスタッフ、テキパキとお手伝いしてくれたUCIの学生さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



3時間にわたり料理に腕を振った後に笑顔で記念撮影。

あさひ学園だより

2019年度 卒園・卒業式

文：あさひ学園事務局

3月上旬、各校にて2019年度卒園・卒業式を行いました。幼稚部、小学部6年、中学部3年、高等部2年の合計約320名の子どもたちが大きな節目を迎えるに至りました。総領事館からは、4名の領事・副領事に臨席いただき、祝辞を頂戴しました。JBAからは中島会長がサンタモニカ校卒業式に参列くださり、子どもたちの巣立ちを見守っていただきました。このような式典で歌われる本校の校歌には長い歴史があり、創立10周年の1979年に制定されました。創立50周年を迎えた本年は、子どもたちにとって大変思い出深いものになったことと思います。

2020年の新年度は、4月4日に始業式、



オレンジ校幼稚部での卒園式。



サンタモニカ校小学6年生の卒業式。

翌週11日には入園・入学式を行います。幼稚部は約100名の入園、また、新小学1年生は、本校幼稚部からの内部新学生と検査で新たに入学する子どもたちと合わせて約160名の入学を予定しています。50周年を経て新たな一歩となる新年度も、子

どもたちにとって充実した学校生活が送れるよう、補習授業校として最大のサポートを行っていきます。

また、年間を通して、どの学年でも編入を受け入れていますので、入学にご興味のある方は事務局までお尋ねください。



トランス校中学3年生の卒業式。

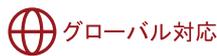


ERP・CRMの導入・カスタマイズ・運用ならおまかせ下さい。

米国拠点向けのシステム開発、日本を含む各国との連携をサポートします。



様々な分野での認定を保有。各製品の連携にも対応します。
● Dynamics 365
● ERP、CRM
● フィールドサービス
● Microsoft Azure
● Microsoft 365/Office 365



北米600名、欧州500名、インド・東南アジア1,000名を含む全世界3,000名の体制。米国拠点へのロールイン、各地域へのロールアウトをサポートします。



業務ノウハウを実装したテンプレートによりシステム開発の短期化に貢献します。
● 製造業 ● 小売業
● 銀行業 ● 保険業
● 運送業 ● 建設業など



ご希望のサービスレベルに合わせ、専門部隊が稼働後のシステム運用を支援します。

Hitachi Solutions

● TEL: 650-615-7621 ● Email: info-jp@hitachisolutions.com
● 担当: 黒田・高木 ● Web: https://us.hitachi-solutions.com/jp/

Microsoft Partner



Gold Enterprise Resource Planning
Gold Application Development
Gold Cloud Business Applications
Gold Data Analytics
Gold Cloud Productivity

4/5月のJBAイベントカレンダー

コロナウイルスの影響により、4月、5月のイベント開催は中止となります。
中止になるイベントは以下です。

4/12 (日)

ドジャース観戦ツアー & Kids Run the Bases (ダウンタウン地域部会)

4/25 (土)

マンザナー収容所巡礼バスツアー (ダウンタウン地域部会)

5/1 (金)

大リーグ観戦・エンゼルス応援 (オレンジカウンティ地域部会)

スタート・パシフィック



STARTS

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで
不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。

日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールド・トランスにごさいます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

もちろん、個人の住宅もサポート

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本でのお住い探しもご相談下さい。

ロサンゼルス店:
TEL (310) 782-7877
1219 El Prado Ave., Torrance, CA 90501
info@startsla.com
www.starts.co.jp/la

ニューヨーク店:
TEL (212) 599-7697
www.startsnewyork.com

サンJose店:
TEL (408) 380-2499
www.starts.co.jp/sanjose

スターツコーポレーション株式会社:
TEL (03) 6202-0111 (代表)
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10
スターツ八重洲中央ビル
www.starts.co.jp

ハワイ店:
TEL (808) 947-2280
www.startshawaii.com

ダラス店:
TEL (646) 708-6194
www.kaigai.starts.co.jp/dallas

「パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム」は
米国駐在員の皆さまのニーズにお応えします。

- ・渡米前に日本から米国の口座を開設し生活費を送金しておきたい
- ・米国赴任中も銀行口座について日本語でやりとりしたい
- ・米国到着後、すぐにカードで現金を引き出したい
- ・日本帰国後も米国の口座を利用し、日本から口座を解約したい

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669**
(フリーダイヤル・日本時間にも対応) までお問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group

©2020 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC. Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. Visit us at unionbank.com/japanese.